物　語

獣医学科４年　加古菜甫子

晴れた日の夕方、陽の光がとてもきれいな時間、おばあさんは小さな犬を連れて散歩へ出かける。10m 先の白い花壇まで。おばあさんは花壇のへりに腰かけ、知り合いが通ればおしゃべりをする。とてもよく馴じんだ言葉で。おばあさんはおしゃべりがとても好きなのだ。だから知り合いが通らなければその小さい犬に向かってしゃべる。これもまたよく馴じんだ言葉で。そしておばあさんは陽が沈むほんの少し前に10m 先の家へ帰る。「暗いとおそがい」からだ。そう、暗いのはこわい。私は時々、おばあさんとその小さな犬に会いに行く。陽の光がきれいだから。

ん？この犬かぁ？おじいさんが残してったんだがねぇ。

ちょこーっと前にな。わしゃ犬なんか嫌い。

おじいさんが一緒に連れてきゃよかったのにて、よう思うだよ。

おばあさんは車のよく通る右側に犬が座るとしかる。

これっ！そっちはひかれるゆっとるが！

おばあさんの左側に座りなさい！危ないがね。

おばあさんは大切そうにしかりとばす。いつも大切にしかりとばしている。

名前か？ん。あっぴぃー。

あっぴーの頭は手の平より小さい。だけどとてもやわらかくて、いつもあったかい。

なぁーに。孫がな、飼えなくなったもんでうちのおじいさんに預けてった犬だわ。

ほんで孫があっぴー、あっぴー呼んどったでぇ、ほんでわしもそう呼んどるだけのこと。わしが付けただないよ。わし、そんなにここ(頭を指して)がようないでね、外国の言葉はわからんだわ。ほだで なんちゅー意味だかわからんけどねぇ。

あっぴー、あっぴー呼んどったで。ほんでわしもそう呼んどる。

あっぴーは外国語？
アッピー、Appy…appy…Happy…ハッピー！！…(H)appy…あっぴー？
おばあちゃん、本当はあっぴーは Happy だったんじゃない？！
おばあちゃん、あっぴーは「幸せ」ってことじゃないかなぁ？
だけどわからない。(H)appy、Appy、Happy…本当はどれでもいい。
あっぴーが Happy の聞き間違えでも、本当にアッピーでも。どっちでもいい。
だけど私は、ふとそんなことを思っただけで、何だかとても幸せな気持ちになれた。だから、それでいい。あっぴー。

　これっ！あっぴー出てっちゃかんて！
　おとなしくしてなてぇ、おばあさんいつもゆっとるがね！

またしかってる。あっぴーを胸にだっこして、しかってる。

　よう声かけてくりゃしたなぁ。あっぴー、お姉ちゃんようこそ、ようこそだね。

おばあさんは大きな手であっぴーの頭をなでる。

　今度会った時、わしがあんたんこと忘れとっても許してな。
　わし、よう若い子ん顔、覚えれぇせん。言ってちょーね、前会ったお姉ちゃんだとなぁ。

私たちは別れて家に帰る。暗くなる前に。